

しじゅうから

福島市小鳥の森通信2018年11月号 No.394



小鳥の森で観察してみよう 83

コガモ

分類：カモ科

生態

- ・冬鳥
- ・季節 10月～3月
- ・生息場所 川、沼、湖

小鳥の森での観察

- ・五本松沼

オスは茶色の頭に緑色の帯



大きさ：34～38cm

今回の絵は、かすかわ しおりさん(5さい)が描いてくれました。

11月の自然予報

冬の始まりを感じられる11月になると本格的にいろいろな冬鳥が訪れるようになります。木の実がたくさんなっているところでは冬鳥の食事の様子を見られるかもしれません。

木の葉が落ちて野鳥の観察がしやすくなった森の中でバードウォッチングはいかがでしょう。

2017年確認種

11月1日	ウソ
11月1日	ミヤマホオジロ
11月1日	アトリ
11月3日	シロハラ
11月8日	ツグミ
11月10日	ヒガラ
11月17日	ミソサザイ
11月19日	キクイタダキ

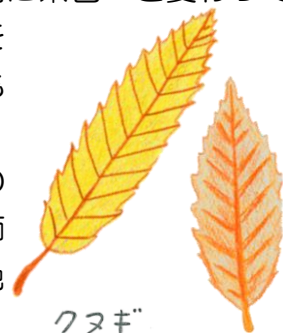


ツグミ

朝夕の冷え込みもきびしくなるころ、紅葉も進んでいきます。

見ごろをむかえるのは、夏にカブトムシやクワガタムシが集まるコナラやクヌギです。葉が赤くなるカエデの仲間とは異なり、これらの葉は黄色やオレンジ色になります。その後、あっという間に茶色へと変わっていくので、この紅葉を見る機会は少ないかもしれません。

秋らしくなった森の中を歩くと、この季節でしか見られない景色が、目を楽しませてくれるでしょう。



クヌギ

コナラ

10月の自然

10月に入り、秋の涼しさを感じるようになりました。この時期になると野鳥たちは子育てを終えて、冬を越すために暖かい南の国へと移動します。

小鳥の森では今年もエソビタキを確認することができました。

小鳥の森では、毎年秋の旅の途中に立ち寄る姿を見ることができます。

今年も鳥の移動で秋を感じることができました。



エソビタキ

紅葉が始まった森の中で、茎の先に黄色い花をたくさんつけたアキノキリンソウが目立って咲いていました。

また、春に花を咲かせていた植物が種や色鮮やかな赤い実をたくさんつけている様子も見られ、季節の移ろいを感じることができた10月でした。



アキノキリンソウ



ミヤマガマズミの実

小鳥の森スタッフだより

ガからハエが生まれた？！

森でセダカシャチホコというガの幼虫を見つけました。その後も観察を続けていると蛹（さなぎ）になりました。春に羽化する様子を見たいと思い、飼育ケースに入れてこのまま冬を越させることにしました。

ところが、ある日、ケースの中にハエが飛び回っていたのです。これは寄生バエの仲間で、セダカシャチホコが幼虫のころにハエの幼虫はその体の中で育ちます。ガが蛹になると、ハエの幼虫は蛹を食いやぶって、外で蛹になり、その後成虫になる生き方をします。ふわふわの体で大きな黒い目が可愛いセダカシャチホコの成虫が見られず、残念ではありましたが、自然の中の一場面に感動もしました。

(スタッフ くらさわ さちこ)

出前講座のご案内

小鳥の森では、福島市内の学校や学習センターなど様々な団体向けに出前講座を実施しています。

森の話や自然素材（放射線量の低い地域や県外からの寄付でいただいたもの）を用いた工作など色々な講座内容を用意しております。季節や人数、活動時間に合わせたプログラムの作成、組み合わせも可能です。

受付は先着順に行っていますので、希望日の2週間前までに電話かFAXにてお申し込みください

(※希望日に予約が入っていた場合、対応できないこともございますので、ご了承ください)。



出前講座の様子

※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。
詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2018年11月号No.394／企画・発行：福島市小鳥の森／日本野鳥の会ふくしま